

1. ワークショップの目的と進め方

- 新さっぽろ駅周辺の今後のまちづくりについて、地域の皆さんとの意見交換を行い、「新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能」について、意見をまとめました。
- 対象地区の町内会長の皆さん、「あつべつ区民協議会」の委員の皆さん、北星学園大学の学生さんにご参加いただきました。



● 第1回ワークショップ

日時：7月31日(水) 14:00~16:30
 場所：厚別区民センター ホール
 参加者：20名
 テーマ：まちづくりの方向性と必要な機能について、意見を出し合おう！

● 第2回ワークショップ

日時：11月5日(火) 10:00~12:00
 場所：厚別区役所 A 会議室
 参加者：21名
 テーマ：まちづくりの方向性と必要な機能について、意見をまとめよう！

● 第3回ワークショップ

日時：3月3日(月) 10:00~12:00
 場所：厚別区役所 A 会議室
 参加者：名
 テーマ：アンケート結果をふまえたうえで、最終的な意見をまとめよう！

2. 各回の意見交換の概要

第1回ワークショップの意見まとめ

「まちづくりの方向性」と「必要な機能」について、3グループに分かれて意見を出し合いました

まちづくりの方向性	必要な機能
○様々な世代が交流できるまちに！ ・高齢者と若者が交流できる ・高齢者と若者が共存共栄できるまち ・あいさつを大切にすまち ・老人にも若者にも住みやすいまちづくり	○世代間交流の場 ・高齢者と子どもたちがふれあえる場所を増やす ・子どもから高齢者まで、全ての世代に楽しみをもたらす場所
○若者が集い、暮らせるまちに！ ・若者が住みたいまちに ・高齢化への対応も必要だが、若い世代が集まる施設や住宅の設置が必要	○高校生・大学生が集える場 ・若い人向けの買物の場やカラオケなど遊ぶ場 ○若い人が働く場 ・若い人たちの働く場が必要 ○市営住宅の入居者入替の仕組み ・市営住宅に若い人が入居できるようにする
○安心して子育てできるまちに！ ・若い世代の人が子どもを産み育てたいと考えるまち ・若夫婦が安心して住める地域 ・子育て支援最先端のまち	○子どもを預けられる場 ・子どもを預けて働きに行ける環境づくり ・保育施設の充実
○子ども達がのびのび遊び、学べるまちに！	○広い公園、広場 ・1団地は広いので 1/2 ~ 1/3 を広場に ○子どもの教育のための機能 ・子どもの教育施設を充実させる ・放課後の居場所づくり
○高齢者が安心してイキイキ暮らせるまちに！ ・高齢者が生きがいを持って暮らせるまち ・高齢者が若々しく楽しめるまち	○高齢者が生きがいを持って楽しめる場 ・高齢者が楽しく生活するためにサロンの充実 ○医療施設 ・高齢者の医療福祉
○文化機能の充実したまちに！	○文化施設の充実 ・コンサートができるような場所 ○今ある施設を生かす ・今ある文化施設を生かしてきいていない ・サンピアザ劇場の楽屋の充実
○市民の活動拠点のあるまちに！	・「ちえりあ」や「エルプラザ」のような、生涯教育と市民活動促進の場
○観光客が降り立つまちに！ ・道外や海外からの観光客が、気軽に立ち寄ることができるまちに	○観光客への親切な案内や名物 ・「新さっぽろにはあれがある」という名物 ・観光客のための親切な案内標示

(○)：グループ進行役が記入したタイトル
(・)：参加者の意見

まちづくりの方向性	必要な機能
○まちの正面がある、わかりやすいまちに！	○まちの正面となり、案内ができる駅前広場 ・JR 新札幌駅前広場 ・清潔なまちのイメージをつくる広場 ○駅前広場からふれあい広場を一体化 ・ふれあい広場が小さい
○歩いて回遊できる、歩きやすいまちに！ ・歩行者を優先したまちづくり ・ユニバーサルデザインなまち	○誰もが安心して歩ける、バリアフリー ・階段が多くて、車いすの方に不便 ・車いすで移動するには狭く、バリアフリーも不十分 ○施設間のアクセスを便利に ・社保病院やシェアトンホテルへの駅、バスターミナルとのアクセスが悪い ・駅 バスターミナル 区役所 区民センターへのアクセスを良くする ○歩行ルートを分かりやすく ・エレベーターが新設されたが、それがどこにつながっているのかわかりにくい
○駐車場や駐輪場がしっかり整備された、公共交通を利用しやすいまちに！	○駐車スペースの充実 ・札幌市内に車両を入れない為の大駐車場 ・団地周辺の道の路上駐車が問題解決できるように、駐車台数をもっと多く確保してほしい ○駐車場などの場所や利用方法をわかりやすく ・駐車場がどこにあるのかわかりにくい ○公共交通などの乗り継ぎしやすいまちに ・パークアンドライド駐車場や自家用車の送迎スペース ・トランジットモールの整備（乗り継ぎ動線）
<その他の方向性> ・日々の生活で不安を感じることはないまち ・日々新しい発見が期待できるまち	<その他の機能> ・様々な機能を集約する ・G と I に集合機能（保育、メディカル、コミュニティ）を
<その他、計画を進める上での意見> ・50年先をみて計画することが大切 ・市営住宅跡地はひとつは売却でも、1つは市民要望を受ける市の施設にしてほしい ・広い余剰地を活用して、きれいな景観にしてほしい ・周辺の土地利用もあわせて考え、新さっぽろ周辺の道路も再整備してほしい	

※施設や仕組みのアイディアは2~3ページに記載

第2回ワークショップの意見まとめ

「まちづくりの方向性」と「必要な機能」について整理しました
(1)~(8)：まちづくりの方向性 1~24：必要な機能

(1) 様々な世代の人々が楽しく集い、交流できるまちに！ 1. 子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設 2. 多くの人を収容できて、多目的に使えるホール 3. くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ 4. 「ふれあい広場あつべつ」をもっと広くして、使いやすくする
(2) 若い世代が暮らしやすいまちに！ 5. 学生や若者の住まいの充実 6. 子育て世帯が入居しやすくなるような、市営住宅のルール作り 7. 安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実
(3) 子ども達がのびのび遊び、学生が集うまちに 8. 「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする 9. 子ども達がボール遊びをできるような広さの公園 10. 高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース
(4) お年寄りが、安心して生き生きと暮らせるまちに！ 11. お年寄りが生きがいをもって活動できる拠点やしくみ 12. お年寄りが気軽に集ってお茶を飲んだり、おしゃべりできるようなスペース 13. 医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなくみ
(5) 文化機能が充実した、市民の活動拠点があるまちに！ 14. コンサートや演劇が楽しめる文化施設 15. 生涯教育や市民活動促進のためのスペース 16. 今ある施設の使いやすさをもっと高めて、文化活動や市民活動に活用する
(6) 訪れた人々に親切でわかりやすいまちに！ 17. 買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示 18. 「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする 19. 新さっぽろの「まちの顔」となるような、駅につながる広場
(7) 歩いて回遊できる、誰もが歩きやすいまちに！ 20. 2階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路 21. 誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実
(8) 駐車場や駐輪場が整備された、公共交通を利用しやすいまちに！ 22. 自家用車から公共交通へ乗り換えるための、大きな規模の駐車場 23. 自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保 24. 設備のしっかりした自転車駐輪場

※施設や仕組みのアイディアは2~3ページに記載

第3回ワークショップの意見まとめ

アンケート結果をふまえて「必要な機能」の項目を再検討し、各項目についての具体的なアイディアを出し合いました(2~3ページに記載)

「新さっぽろ駅周辺地区まちづくりアンケート」実施

第2回のまとめをアンケートの選択項目にして、地域にお住まいの皆さんに「まちづくりの方向性と必要な機能」をうかがいました

3. ワークショップの意見まとめ

①: 第1回ワークショップで出されたアイデア ②: 第2回ワークショップで出されたアイデア

まちづくりの方向性	必要な機能	施設のアイデア	仕組みや取組みのアイデア
(1) 様々な世代の人々が楽しく集い、交流できるまちに！	1 子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	① 間仕切りを自由に動かせるスケルトンの建物にして、親子・大学生・お年寄りが交流できるような複合施設 ① 一部のスペースでも良いので、三世代交流の場を確保	② 施設や空間を設けるだけでなく、イベント（ソフト面）が必要
	2 多くの人を収容できて、多目的に使えるホール	① 規制が少なく、飲食ができ、大人数が集まれる多目的ホール	
	3 くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	① まちの景観を楽しめるオープンカフェ ① H 団地は、花いっぱいになる環境がある ① 他の区やまちから来た人がくつろげる場所 ② 日常的に緑があり、人々が集い、くつろげる場所	
	4 「ふれあい広場あつべつ」をもっと広くして、使いやすくする	① 区民センター駐車場を移動するなど、駅からのつながりをよくする ② イベントには広い会場が必要	
(2) 若い世代が暮らしやすいまちに！	5 学生や若者の住まいの充実	① 若い人や外国人も住める、家賃の安いアパート ① 所得が不安定な人向けの住宅 ② 学生にとっては、1LDK で4万円程度の住宅が理想的	② 居住した学生さんが地域活動に参加できるようなしくみをつくり、地域で育てていけたらよい ② 駅周辺の町内会会士の連携など、地域の受け皿づくりが必要
	6 子育て世帯が入居しやすくなるような、市営住宅のルール作り	② 子育て世帯が入れる市営住宅が必要 ② 子育て世帯が居住するために、集会室や保育所の配置もあわせて考える	① 市営住宅に若い人が入居できるようにする ② 市営住宅の1～2割は若い人に居住してもらうなどのルール作りが必要
	7 安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	① 保育施設 ① 病院保育所 ① 学童保育施設 ② 子どもを預けて公共交通で通勤できるように、駐車場の整備	① 学童人口と小学校の適正化 ② 保育園では、若い先生だけでなく元気なお年寄りやベテラン主婦も働けるようにする
(3) 子ども達のがのびのび遊び、学生が集うまちに！	8 「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする	① G 余剰地を活用し、青少年科学館につながる知的な施設を設ける ① 青少年科学館周辺に、子どもの広場を設ける ② 青少年科学館にも保育所や学童保育の場が必要 ② 大型バスの駐車場	
	9 子ども達がボール遊びをできるような広さの公園	① 市民と家族の交流の場にもなるような、大きな緑地公園 ① 20～30m 角の、三角ベースができる広さの公園 ② 小さな公園を多く設けるのではなく、大きな公園を設ける	② 3世代交流の施設と一緒に考えられるとよい
	10 高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース	② 高校生や大学生が、遊ぶ目的だけでなく、サークル活動や他校の学生との交流のために集える場所	
(4) お年寄りが、安心して生き生きと暮らせるまちに！	11 お年寄りが生きがいをもって活動できる拠点やしくみ	① 退職した男の人が集まる場所 ② お年寄りが困りごとを相談できるような場所	① お年寄りが人のために活動できるシステム ② ボランティア登録のしくみやコーディネート ② お年寄りの能力を発揮できる仕組み
	12 お年寄りが気軽に集ってお茶を飲み、おしゃべりできるようなスペース	① お年寄りだけで気安く集まれる「シルバーターミナル」	① お年寄りの引きこもり対策が必要 ② 中心だけでなく、地域のサロンをもり立てることが大切
	13 医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	① 交通手段等を考慮した、メディカル施設の効率的配置 ① 最先端の医療施設。例えば、がん治療などの最先端医療	① 医療施設の情報が共有できるとよい（情報ネットワーク化）

①: 第 1 回ワークショップで出されたアイデア ②: 第 2 回ワークショップで出されたアイデア

まちづくりの方向性	必要な機能		施設のアイデア	仕組みや取組みのアイデア
<p>(5) 文化とスポーツの機能が 充実した、市民の活動拠点が あるまちに！</p>	14	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	① コンサートができる場所 ① 文化ホール、サロン ② 専用ホールではなく、多目的で使える文化施設 ② 音響重視で、300～500 人規模のものが必要	② プラスバンドの発表と練習などができる場所があるとよい
	15	生涯教育や市民活動促進のためのスペース	① 区民センターをより機能を充実させた、「ちえりあ」のような施設 ② 大規模な施設というより、会議室でもよいので市民の活動拠点があればよい（以前 DUO に場所を持っていた） ② 1 の交流施設と一緒に施設として考えてもよい	
	16	今ある施設の使いやすさを高めて、文化活動や市民活動に活用する	① サンピエザ劇場の楽屋を充実するなど、使いやすさを高める ② サンピエザ劇場の大改造は難しいので、古い座席を改良し、バリアフリーで利用しやすくする	① 今ある文化施設を活用するしくみ ② 区民センターの申込を、1 か月前からできるようにしてほしい
	17	学習スペースを備えた、広く充実した図書館		
	18	厚別区体育館を使いやすくするなど、屋内外のスポーツ施設の充実		
<p>(6) 訪れた人々に親切で わかりやすく、魅力ある まちに！</p>	19	買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示	① 観光客も楽しめる施設と案内が必要 ② サイン計画では限界がある。色分けで分かりやすくする ② ペDESTリアンデッキ（歩行回廊）があれば、わかりやすくなる	
	20	「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする		① 開拓の村と連携して資料を展示し、観光のきっかけをつくる ② 自然を生かしたアクティビティなど、今ある資源を生かして、札幌の玄関を観光客にアピールしていく
	21	新さっぽろの「まちの顔」となるような、駅につながる広場	① 交番の場所や入口の向きを変え、広場と一体化させる ① A 駐車場と一体と考えられるとよい ① 特徴ある植栽があるとよい ② 交通広場としての駅広場ではなく、人の集まる広場が 2 階部分の歩行回廊につながった形でできるとよい ② 青葉通り側に広場が必要	② 日常的なイベントが行われ、賑わいが生まれるとよい
	22	民間企業の力を活用し、現在不足している店舗や、集客力のある商業施設を充実	① 個性的なレストランや飲食店 ① 安い居酒屋など、大学生が集団で訪れて遊べる場所 ① 若い人向けの買い物の場やカラオケやライブハウスなど遊ぶ場	
<p>(7) 歩いて回遊できる、 誰もが歩きやすいまちに！</p>	23	2 階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路	① 2 階レベルで様々な施設をつないで、アクセスを良くする ② 2 階レベルで施設をつなぎ、その一部に広場も設けられるとよい ② 2 階と地下の歩行者路をつくり、つなぐ	
	24	誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実	① エレベーターがどの場所につながっているかわかるような案内板	
<p>(8) 駐車場や駐輪場が整備された、 公共交通を利用しやすい まちに！</p>	25	自家用車から公共交通へ乗り換えるための、大きな規模の駐車場	① パークアンドライド駐車場 ① 公共駐車場 ① G 団地の一部を区役所や科学館利用者の大型バスの駐車場として活用 ② 都心に車を入れないために、駐車場の規模を大きく考えることが必要	① 自家用車の乗り入れを制限するゾーンを設置する
	26	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	① 送迎のための乗降場所の確保	
	27	設備のしっかりした、自転車駐輪場	① 屋根付きで、自転車のラックをしっかり備えた駐輪場	
	28	JR 新札幌駅を、もっと快適で使いやすい場所にする		